

広大生のための広報誌

HU-style

2010 Jul. vol. 22

広島大学



キャンパスを
歩く人たちを
Snap Snap!
スタッフ スタッフ
《食堂・弁当・昼ご飯編》

特集 今何してる? 広大学生

あの人に会いたい

ロックアーティスト

原田真二



あの人に会いたい
Interview with Shinji Harada

ロックアーティスト
原田真二

優しさの波紋を 広げよう。

PROFILE
1958年、広島生まれのロックアーティスト。舟入高校在学中に、吉田拓郎に見いだされる。デビュー後、3カ月連続リリースした「ていんず ぶるーす」「キャンディ」「シャドーボクサー」が3曲同時にオリコンベスト20入りするという、日本初の快挙を達成した。近年は、国連での演奏など、世界中でメッセージを発信。明治神宮・伊勢神宮・厳島神社をはじめとする日本各地の神社で、自然環境や心の重要性を訴える「鎮守の社コンサート」を毎年開催している。
オフィシャルホームページ <http://www.shinji-harada.com/>



音楽家を目指したきっかけ

幼稚園のころは、宇宙飛行士になるのが夢で、ロケットばかり見ている子どもでした。音楽への目覚めは突然でした。小学校6年の時にたまたま衛星中継で見た、エルビス・プレスリーのライブがカッコよかったんです。観客と一体となった興奮のライブで、僕もそういう存在になれないかな、という思いが生まれました。

それからは、洋楽ばかりを聴くようになり、独学でアコースティックギターを始めました。当時はフォークブームで、吉田拓郎さんと井上陽水さんの時代でしたからね。あとは不純な動機ですが、ギターが弾けると学校でモテる!みたいな(笑)。

音楽家はメッセンジャー

僕の出身は広島市で、通っていた小学校は、爆心地が一番近い学校でした。学校の地下室には戦時中の遺物が保管されていて、道徳の授業や平和教育の時間は、今でもすごく印象に残っています。そういう経験から、僕の作品は、最初からメッセージ性が強かったと思います。

音楽家はメッセンジャーだと思います。楽曲

を世の中に出したら、たくさんの方が聴いてくださるわけだから、そこから、何かを感じてもらいたい! 皆さんも経験があると思いますが、好きなアーティストの曲を聴くと、元気が出たり悩みが吹っ飛んだり、そんなことがあるじゃないですか。音楽の力ってすごいんですよ。

僕は、人の心の中に、もっと相手を思いやる気持ちとか、感謝の気持ちなど、優しい気持ちが生まれてほしいと思っています。音楽の力でそれをかなえたくて、自然にそこを目指した曲作りをしています。

最近では、ニューヨークの国連本部や、海外各地のピースイベントでも、演奏活動を行っています。国内では、「鎮守の社コンサート」という神社での演奏活動や、病院でのチャリティライブを行うこともあります。いろんな所で演奏をしますが、どの場所でも演奏を始めると、皆さんの顔が見る見るうちに変わっていくんですよ! この瞬間、音楽が持っているエネルギーが、言語や民族なんて飛び越えて伝わっていると実感します。



思いやりの気持ちを広めたい

音楽と向かい合う上で大切にしていることは、「優しさ」です。どんな人でも優しさを発信すれば、それは必ず相手に伝わるんです。例えば、笑顔で「ありがとうございます」って言ってもらえたら、やってきて良かったなって思いますよね。そのささやかな優しさが引き金となって、次の人が同じアクションを起こす。すると周りが変わり、社会が変わり、水の波紋のように広がっていく。誰もが、社会や国や世界を変える力を持っています。世の中に無意味に生まれてい

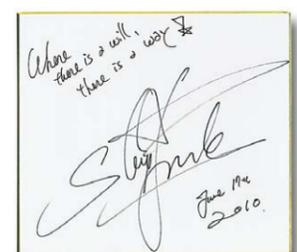
る人なんていません。世界平和にしても環境問題にしても、人の心が優しくなければ解決できません。一人一人の心の中に、周りを思いやる気持ちを復活させなきゃいけない。世界中に蔓延している、自分さえ良ければいいっていう感覚を変えることが、僕が音楽をやっている究極の目的で、僕の役割だと思っています。



広大生へのメッセージ

広島大学には、県内だけでなく、さまざまな場所から学生が集まっています。それは偶然ではなく必然であり、何かの意味があって集まっていると考えてみては、どうでしょうか。すべては、人と人の縁で作られていきます。皆さんが広島大学で4年間を過ごすなら、そこでの縁を感じ、さらにヒロシマが持つ平和へのエネルギーをしっかりと感じ、大学での勉強に生かしてほしいと思います。

大学生の皆さんは、これからいろんな方面に進んでいくでしょう。周りの人への優しさを心の基盤にして、感謝の気持ちを忘れず、いろんなことに挑戦してください。素晴らしい社会人として、発展を得られると思います。



取材を終えて

本当に雄弁な方で、記事では表し切れないほどの熱意を込めて、語って下さいました。ゴミ拾いでも、車の運転を優しくすることでも、どんなことでも、ちょっとした優しさで、周りを変えることができるという言葉に、思わずうなずいていました。最後には「がんばってください!」と握手まで。ありがとうございました!

原田さんの印象を一言で表すと「熱い」でした。真剣にご自身の考えを話して下さる姿、取材の最後にしていただいた握手……。何をとってもし熱い情熱が感じられ、圧倒されました。私も原田さんのように、自分の信じた道をまっすぐに突き進める人間になりたいです。

取材・記事/法学部2年 武林 賢朋



取材/教育学部2年 内山 亜里紗

今何してる? 広大学生

広大で今注目の施設とオススメスポット、そこにいる広大学生たちをご紹介。
ツイッターふうにお届けします。



大野 美保さん
(生物生産学部1年)

佃 慶子さん
(生物生産学部1年)

石掛 以果さん
(生物生産学部1年)

自宅生なので、一人暮らしで自炊してみたいです。最近、地元で塾のバイトを楽しくがんばっています。

一人暮らしを始めて、節約にハマっています。だからいつもお弁当です。お金を貯めて、夏休みは韓国で買い物したいなあ。

今何してる
お弁当
食べてます。

最近、料理好きです。冷蔵庫にあるもので、パッと作ります。交響楽団のサークル活動もしていて、毎日が充実です。

SPOT 01 新しくできた「学生プラザ」

4月に完成した学生プラザは、学生の憩いの場所。特に新入生が多いようです。お昼には、お弁当を持参した人たちも多く見られます。広大生って、意外とコマ!

施設概要

- 1階(平日8:30～20:00)・・・学生用フリースペース/総合案内コーナー
- 2階・・・キャリアセンター/校友事務局/アクセシビリティセンター
- 3階・・・学生活動支援グループ/経済支援グループ/国際交流グループ/教育支援グループ/教育企画グループ
- 4階・・・保健管理センター(メンタルヘルス部門・カウンセリング部門)/ピア・サポート・ルーム



いろんな新聞が読めるよ。海外の新聞も!

タタコピは、
学生の強い味方だね。



通行人tweet

- ほとんど毎日、昼食の時に利用している(総合科学部1年)
- 弁当を持ってくるので、このスペースは利用しやすい(総合科学部1年)
- 大きなテーブルもあり、みんなでワイワイできる(総合科学部1年)
- ゴミ箱があればもっといいと思う(総合科学部1年)
- 東方神起の曲が流れていることが多く、謎である(総合科学部1年)
- トイレが少ないので、混み合うこともある(総合科学部1年)



今年の春に購入してきました。出掛けるのが好きなので、西条の酒蔵には行ってみたいし、夏には青春18切符で東北までの旅行を考え中です。

土肥 幸美さん
(総合科学研究科M1)

今何してる
キャンパスの中を
散策中です。



撮影の時は、ちょっとしたお花畑に

SPOT 02 キャンパスの中に清流?「角脇川」

広大の東広島キャンパスの真ん中では、小川のせせらぎが聞こえます。緑豊かな遊歩道を散策してみると、あちこちに「ステキ」が見つかりますよ。

通行人tweet

- 週2くらいの割合で、昼食を食べに来る(文学部4年)
- 人がいなくて、のんびりできるのでいい(文学部4年)
- ベンチがあるので、休憩ができる(文学部4年)
- 通り過ぎるだけで、あまり立ち止まったことはない(工学部2年)

SPOT 03 屋根が付いて快適な「駐輪場」

大学生の足といえば、やっぱり自転車。総合科学部横の屋根付き駐輪場は、広々としてとっても好評です。雨上がりも冷たくない!

通行人tweet

- こっちの駐輪場は、屋根があるから便利です(教育学部1年)
- 毎日の駐輪場を利用してますね。広いから置きやすいです(経済学部1年)
- ホケカンの横は「遠い総チャ」とか「あっちの総チャ」って呼びます。ちなみに、ローソン横を「総チャ」って呼んでますよ(教育学部1年)
- 今からローソン横に自転車を置きに行きます! あっちのほうが近いんで……(教育学部2年)



写真に撮りたくなるほどのバイク好きです。この自慢のバイクと共に、北海道や沖縄まで行ったこともあります。今度は、東北地方を旅してみたいですね。

石川 隆之さん
(法学部夜間主コース4年)

今何してる
バイクを止めています。

SPOT 04 広大到スペイン? ローマ? 「スペイン広場」

有名なローマのスペイン広場は、階段の上に教会があり、広大のスペイン広場は、階段の上に図書館があります。似てない? 本場は飲食禁止ですが、ここはOKです。

今何してる
広場で
お昼休みです。



ラウレン・ガリシア・ジュゼップさん
(教育学部1年)

僕は、日本育ちですが、両親はスペイン人です。フティファラというソーセージみたいな食べ物がおススメ。いろんな国の人とかかわるのが好きだから、気軽に声をかけてね!



ローマのスペイン広場



自慢のアメリカンバイク

通行人tweet

- 週一くらいで、ランチ場所として利用しています。もうちょっとサークルにも使わせてほしいです!(総合科学部2年)
- スペインっぽさは、あんまり感じたことはありません。まず何で、スペイン広場という名前が付いているのが謎です(笑)(総合科学部2年)
- スペイン広場のベンチは、夏絶対使えないと思います。もう少し日陰があったらいいのに……と通るたびに感じています(教育学部1年)

SPOT 05 取りすぎに注意!「大学会館食堂」

和食・洋食から麺類・サラダまで、品数豊富。気が付いたら肉ばかり、なんてことがないように、健康に気を付けましょう。煮物やあえ物なども、いろいろあります。

通行人tweet



カレーの辛さが日替わりなのが、飽きやすい学生にはうれしいです。食堂っていろいろ工夫されているんですね!(経済学部1年)



どの食堂も、力を入れているメニューや店内の雰囲気が違うのが魅力。機会があれば全食堂制覇してみたいです(理学部2年)



ソフトクリームが好き。「〇〇味期間限定!」って見るとつい買っちゃう……!次は何味かな〜(教育学部1年)

揚げ物もいいけど、ご飯には魚もいい!家で揚げ物は焼いています。こう見えて僕、ヘルシー志向です。



先日、陸上部の幹部を引退しました。仲間と練習を続けてきたことは、大学生活での自慢です。でも部活をしなくても、おなかには減ります!おかずに対するポリシーは「いかにご飯が進むか」。

真嶋 航誠さん
(工学部4年)

今何してる
昼のおかすを物色中です。



広島ホームテレビで放送中の「レッツ!東広島」に、今年の4月からリポーターとして出演しています。将来はロシアに帰り、日本と関係のある仕事に就きたいです。

蘆田 智絵さん
(教育学研究科D3)

ジュニアと一緒に立ち上げた、子どもたちに世界の遊びを教えるボランティアで活動中。中国新聞でも紹介されたんですよ。東雲茶道同好会にも二人で参加しています。

グレチャーナヤ・エブゲーニヤさん
(教育学研究科M2)

今何してる
のんびりおしゃべりしてます。
留学生とチャーターでの出会い以来、大の仲良しです。

SPOT 06 オシャレスポット!「ラ・プラス(マーメイドカフェ)」

ガラス張りのオシャレな建物。中はアンデルセンのマーメイドカフェとなっており、学生や教職員でにぎわっています。屋根の上には、太陽光発電パネルが設置されているって、知ってました?

通行人tweet



おしゃべりしたいときや暇なときに来るなあ(教育学部4年)



図書館だと、食べたり飲んだりしゃべったりできないんだよね(教育学部4年)



おしゃれでかっこいい!!(経済学部3年)



学校にいる感じがしないんだよね。市内かどこかにいるような気持ち(教育学部4年)



週3回は来るなあ(法学部4年)



中央図書館は、専門分野の研究でよく利用します。今日はサークルで、バスケの戦略について調べて、議論しました。この後は学食で大盛カレー食べて、セミナーに出ます。

グループワークゾーン



高路 愉向さん
(理学研究科M2)

今何してる
バスケの戦略研究会議です。

図書館で、会議ができていい!

今何してる
行き先を確認中です。



富家 紬さん
(経済学部1年)

SPAという「遊び」のサークルに入っています。「CAPASEA」という広大生の総合情報ポータルサイトで、広大生のファッションを紹介する企画にも参加しています。チェックしてくださいね。

通行人tweet



見やすいから便利!! 迷子にならなくてすむし……(笑)(文学部1年)



さてと、工学部はどこにあるのかなあ(文学部1年)



あんまり利用しないかな……でもおしゃべりばさはあるねえ(法学部4年)



ああ授業だ……今から総合科学部に行かなくちゃ(経済学部1年)



私はココです。

SPOT 08 めっちゃ詳しくなった案内掲示板

広大の東広島キャンパスは、とにかく広い。取りあえず行ってみる、というワケにはいきません。詳しく知るほど詳しい案内掲示板は、学外の方のみならず、学生にも好評です。

SPOT 09 緑と白いベンチの東千田キャンパス広場

緑と白いベンチが囲む、ゆったりスペース。社会人の方も多いので、ちょっと一服の喫煙スペースにも。広場の真ん中にある大きな石は、広島大学原爆死没者追悼の碑です。

通行人tweet



夜間生の多くは、夕方6時から9時までの授業だよ(経済学部2年)



法科大学院もあるよ! 司法の道に進む人は、卒業後にこのキャンパスに来るかも!?(経済学部2年)



お腹空いたー。取りあえず食堂行こう!(法学部1年)



武林 賢朋さん
(法学部2年)

趣味はドライブ! 通学もクルマのクルマ好きです。後は食べ物屋巡り! 広島市内のカフェから居酒屋まで、あらゆるお店に、昼夜を問わず出没します。

今何してる
食堂を出て一休みです。

SPOT 07 中央図書館ラーニングcommons(仮称)

中央図書館が一部リニューアルし、話しながら使える画期的な空間が誕生。パソコンが並ぶ書斎空間や、何でも相談できる相談カウンターもあります。

通行人tweet



奥の方にあるパソコンスペースに、センスを感じる。特に机(経済学部1年)



あんまり中央図書館使わん……でもラーニングcommonsはキレイ(総合科学部2年)



ラーニングcommons、入ったことない……(工学研究科M2)



新聞読んだりしてます(理学部2年)



図書館で、会議ができていい!

SPOT 10 気持ちいい〜! 霞キャンパスいこいの森

大学病院の入院病棟の南側に、緑豊かな森があります。すがすがしい空間は、患者さんのいこいの場として、ひとときの清涼感を提供しています。

通行人tweet



こんな裏庭があるなんて知らなかったー。自分のキャンパスなのに(医学部2年)



生協にはやたらと歯ブラシ・歯科グッズが充実している。これが医療キャンパスの力なのか……(医学部2年)



キャンパス内にスタバがある!!(医学部2年)



デンタルスキルラボで撮影



林 聡里さん
(歯学部2年)

谷 真由さん
(歯学部2年)

今何してる
街中の森でマリフレッシュ。
入院病棟の南側で〜!

よく行くのはスタバ。ときにまったり、ときにせかせかと自習。ジャズ研所属で、好きなモノも欲しいモノもベース! 秦基博に、Perfume、サカナクションが好きです。

学生取材班が行く

はやりのネタや時事問題、ちょっと気になる先生など、あなたの「知りたい」を学生取材班が調べてレポートします。



学生による学生のための相談室

新銘菓「せとこまち」を共同開発

広島名物といえば、何を連想しますか？ カキ、お好み焼き……いろいろありますが、南部の温かい気候を利用した柑橘類の栽培も盛んです。中でも、はっさくは広島生まれ。広島大学としき堂と尾道市が、尾道産はっさくを使った新銘菓「せとこまち」を共同開発しました。包装紙・化粧箱・個包装のデザインは、教育学部造形芸術系コースの学生が制作をお手伝いしました。当時制作にかかわった、広大OGの藤原さんと河野さんにお話を伺いました。



左から藤原さん、河野さん

にしき堂からの依頼を受け始めた企画。河野さんは、瀬戸内海を水墨画で表現した包装紙を担当しました。「企業が求めているものをつかむため、同じ絵を何度も書き直しました。出来上がりが平面ではないので難しかったです」本当に瀬戸内海を見下ろしているような視線を奪われるパッケージです。こだわりは、墨の濃淡による画面の抑揚。はっさくの木が立体的で、墨絵初心者とは思えないほど。



愛らしい「せとこまち」のパッケージ

「試作品を食べたとき柔らかく上品な味でしたので、女性的で高級感のある雰囲気になりました。急に色の変更を要求されて、戸惑うこともありましたが」と、化粧箱を担当した藤原さん。箱は品

のある黄緑色をバックに、愛らしいはっさくの花のデザイン。女性的なイメージを大切に、藤原さんのこだわりがうかがえます。半年にも及ぶ企画で苦労が多かったものの、企業とかかわって社会に発信することで、達成感を得たそうです。この経験は、社会に出て、新たな挑戦への自信につながっているようです。「学生時代は、やりたいことをやって時間を大切に」と二人は言います。

「せとこまち」は、はっさくの苦みがさわやかな人気商品。その人気には広大生の努力が貢献していました。広島大学では、にしき堂との新たなデザイン企画も進行中だとか。帰省するとき、お土産や話の種に困っている方は、ぜひ買ってみては？

取材・記事/法学部3年 香田 千尋

ピア・サポート・ルーム

2000年に設置された、学生による学生のためのなんでも相談室です。この春、総合科学部から、新しく完成した学生プラザの4階に移転しました。「ピア」とは、年齢・立場・境遇を同じくする者という意味。その名の通り、学生が中心となって相談に当たります。相談に訪れる方は「ピアさん」と呼ばれます。

取材したのは、現役のピア・サポーター5人。約1年かけてトレーニングを積んだ広大生です。「僕たちピア・サポーターは、専門家ではないので、悩みを根本的に解決できるわけではありません。僕たちの役目は、同じ学生という立場から、ピアさんの思いを引き出し、寄り添うこと。いわば、情報の交通整理です」と、大坂さん。



左から古賀さん、芥川さん、大坂さん、増田さん、小山田さん

相談は予約不要で、ピア・サポーターと1対1で行われます。相談内容は、施設の場所を尋ねるものから人間関係までさまざまです。専門的な対応を必要とする場合は、専門機関への橋渡しも行います。もちろん、相談内容は秘密厳守です。

4月中は総合科学部内に仮設ブースを設置し、新入生の相談を多く受けますが、学生プラザ4階に戻る5月以降は、利用者が減るそうです。「ささいなことでも、話し相手欲しいなと思ったときでも、気軽に利用してほしいですね」と、小山田さん。

「ピア・サポーターになって、コミュニケーションスキルが身に付きました。他大学との交流や、ピア・サポーター同士でのパーベキューも行います。ピア・サポーターは随時募集中ですので、さまざまな人に経験してほしいですね」と、芥川さん。

「学内にこういった施設があることを知っている人は少ないと思います。今後は認知度を高めて、悩みを抱えた人をもっと支援したいです」と、古賀さん。この記事がその一助となればと思います。

取材・記事/経済学部1年 神岡 遼

活動場所	学生プラザ4F	開室時間	月曜～金曜 12:00～16:10
TEL	082-424-6328	E-mail	peer@hiroshima-u.ac.jp
HP	http://home.hiroshima-u.ac.jp/peer/		

Knock on the door

「難しい」を「面白い」 に変える授業を

外国語教育研究センター 吉満研究室訪問

きっかけは「なんとなく」から

今年4月から、吉満先生は、NHK教育の語学番組「テレビでドイツ語」に講師として出演し、テレビを通じて分かりやすく丁寧に、ドイツ語を指導しています。普段は大学で、学習者がドイツ語を分かりやすく、効率的に習得する教育方法を研究しています。しかし、先生がドイツ語の道を選択したきっかけは、意外にも「なんとなく」でした。

「とにかく外国語を何かやろうと思って、外国語大学への入学を希望していましたが、どの言語をやるかなんて、全く考えていませんでした」悩んだ先生は、高校の担任の先生や、お父さまから勧められたことで、ドイツ語を学び始めます。最初は上達せず苦心されたそうですが、大学2年生の夏休みに、思い切って渡独したことが転機になります。

「三カ月の短い滞在でしたが、行く前と後とは全く違いました。滞在の間に上達したことで、ドイツ語を学ぶことの面白さが理解できるようになったのです」

授業に出たら、タダでは帰らないでね

ドイツ語教育を研究している先生にとって、授業は研究のフィールドですが、やはり学生のためのもの。

「授業で学んだことが、その人のその先の勉強とか、人生に何かプラスになればいいなと思います。だから学生の皆さんには、いつも言っています。授業に出たら何か持って帰ってね、と」

どうしたら分かりやすくなるか、仮説を立てて授業で実践し、結果を分析する。学生から「ドイツ語が好きになった」「ドイツ語が理解できるようになった」という声を聞くとうれいそうです。

見ている人が「そうなんだ」と思えるきっかけを

先生が授業をするに当たって何より心掛けていることは、「質問しやすい教室づくり」。先生は、現在出演されている「テレビでドイツ語」でも、雰囲気づくりを心掛けています。番組では、共演者の原沙知絵さんの質問から話が広がり、台本にはなかった説明をすることも。共演者の原さん、ライさんと共に、女子会を開くなど、テレビの仕事は明るい雰囲気でも楽しいそうです。

経験に無駄はない

先生は、授業や研究の間に「テレビでドイツ語」の収録や番組テキストの執筆を行っており、とても忙しいそうです。「テレビの仕事の話がきた時には、私にできるのだろうかという不安もありました。すぐに結果は出ないだろうけれど、今やっていることは、何年かたった後でも、どこかで必ず役に立つと思います。何でも、無駄だと思わずにやってみる価値がありますよ」

そう笑顔で語る先生の一言一言には、柔らかくも深みを感じました。僕もチャレンジ精神で進んでいきたいです。

取材・記事/法学部2年 本川 僚彦



吉満 たか子

外国語教育研究センター
准教授

大阪外国語大学大学院外国語学研究科修士課程修了。大阪ドイツ文化センター勤務などを経て、2005年本学外国語教育研究センター助教授に就任。2007年より現職。専門はドイツ語教育。ドイツ語教材開発、アジア諸国のドイツ語教育のカリキュラムなどについて研究している。修士（言語・文化学）。



スタジオにて写真左から、サツキさん/原沙知絵さん/マライ・メントラインさん/吉満先生/ベンヤミン・ラインさん



先生が執筆した教科書と参考書



扉の課題提出ボックス(左)と、お気に入りの朗読CD(右)





宮本友昭 Tomoaki Miyamoto

在マーシャル日本国大使館 専門調査員(経済協力)
(2009年3月 国際協力研究科博士課程前期修了)
受け身ではなく、自分の中で目的意識を持つ

—仕事内容は?

マーシャル諸島における経済状況の調査です。具体的には、GNIや輸出入の状況について、データ分析や近隣の島国との比較調査を行っています。マーシャル諸島は他

国からの援助を多く受けていますので、国際機関からの援助動向を調査することもあります。日本も援助を行っていますが、現地の調査が十分でない、援助してほしいことと実際の援助にずれが出てきてしまいます。効果的で持続的、かつ、現地のオーナーシップを最大限に生かせる援助が求められますので、日本の外務省に報告する調査内容はとても重要です。

—仕事をする上で大変なことは?

マーシャル諸島は平和で、人々はとても親日的なので、正直、そんなに大変だと思ったことはありません。日本と比

べて時間や締め切りの意識が低く、人材が少ないので担当者が不在だと話が進まないなど、思うようにいかないこともよくあります。でもマーシャルの人たちは、時間はかかってもしっかりと仕事をしてくれます。締め切りを早めに伝えるなど、自分で工夫しながら仕事をしています。以前、JICAの青年海外協力隊に参加し、2年間マーシャル諸島に滞在した経験があるので、今もそのときの経験が生きているのだと思います。

—大切にしていることは?

自分のやりたい仕事としてここに来たし、すごくやりがいがあるので、多少持っていたイメージと違うところがあっても、楽しんで仕事をするように心掛けています。

外務省の在外公館なので、日本の国益を第一に考えなくてはいけないのですが、同時に、「どうすれば、マーシャルをもっと良くできるか」ということも常に考えながら、仕事をしています。

大使館では、現地の職員と一緒に働いていますが、この仕事は2~3年という任期があるので、自分のしてきたことをうまく引き継いでいくために、彼らに日本人の仕事ぶりやマネジメントの大切さを教えていくことにも、力を入れています。時には行き違いもありますが、押し付けではなく、相手を尊重しながら「対話」を大事にしています。

—広大生へメッセージを!

学生の間は、受け身になることが多いと思いますが、自分で問題を見つけて取り組み、結果を出せる「問題発見能力」を培ってください。あとは、目的意識をはっきりさせること。目標を設定すると自分に足りないものが見えてきま

す。それを埋める作業が大事なんです。僕は、院生時代に難民キャンプを訪れた経験から、いずれ彼らの帰還後の教育に携わりたいと考えています。そのために今何を学んでおくべきか、自分に足りない部分を補完することはとても重要です。そういう観点で仕事をしています。とにかく自ら考え動くこと、これが大事ですね!

社会の第1線で活躍している先輩たちを、学生スタッフがインタビュー。仕事のことから学生時代に身につけておくべきことは、またまたメンバーズが、私たち学生の素朴な疑問・質問にお答えいただきました。

羅針盤 compass OBG&OG 紹介



—現在の仕事を選んだきっかけは?

もともと1つ上の先輩から誘われて、小学5年生のときバスケットボールを始め、それから中学・高校・大学とバスケットを続けてきました。大学卒業後は地元に戻ることも考えましたが、進路決定をする際に、現在のチームの監督に声を掛けていただいたことがきっかけで、実業団バスケットの道を選びました。自分にはバスケットかと思ったのが、今の仕事を選んだ一番の理由ですね。

—学生と社会人の違いは?

時間の使い方が一番違いますね。大学生の間は、夜遅くまで遊んだり朝寝坊したり、自分の好きなように時間を使えますが、社会人になると、一日の中で拘束されている時間が長いので、限られた時間の中で自分のやるべきことをやらなければなりません。私の場合、8時半から16時まで刊行物やHPの作成、展示会出展など広報部での仕事をし、その後17時ごろから20時までバスケットの練習をし、21時ごろ帰宅するという生活を送っています。本当ならもっとお料理などもしたいのですが、平日は忙しくてなかなか時間がありません。

—広報部での仕事とバスケット。

それぞれで大切にしていることは?

バスケット部は、特別に普段の仕事早く切り上げて練習に行ったり、試合のために仕事のお休みをいただいたりしているので、広報部での仕事のときは、120%の力を出して自分のできることをするようにしています。また、バスケットは私のすべてなので、バスケットがうまくいかなければプライベートもうまくいかないし、だからこそバスケットをするときは楽しむようにしています。



—今、心掛けていること、今後の目標は?

社会人2年目で、試合中にひざの靭帯を切ってしまい、歩くことさえ困難となり、1年を棒に振りました。それまでは、ちょっと体がきついと練習が嫌だとも思いましたが、けがで練習ができなくなった時に、バスケットができることの幸せを痛感しました。復帰に向けてコツコツと練習を続けることで、小さなことでも続けられたらできるようになることも実感



しました。限界を作ったらそこまでしかがんばれません。だから自分で限界を決め付けず、現役のうちは常に走り続け、チームを引っ張っていきたくと思っています。

—広大生へのメッセージ

時間を大切にしてください。大学生はいろいろなことができます。そのことに気付いてほしいです。また友達をはじめ、先生・先輩・後輩など、つながっている人を大切に、ずつつながってほしいと思います。



梅本恵里 Eri Umemoto

トヨタ紡織サンシャインラビッツ
(2004年3月 教育学部卒)
時間を大切に、自分のやるべきことに120%

取材を終えて



サークルの先輩だったこともあり、よく知っていた宮本さん。しかし、あらためてインタビューをすると、私の知っている宮本さんとは違い、しっかりと自分の道を歩んでいる姿に感銘を受けました。私も、目的意識を持って、いろいろなことを考えて行動し、宮本さんのように「大学時代にやり残したことはない」とキッパリいえるようにがんばりたいです。

取材・記事/教育学部3年 君原 晴佳



モデルのようにすらっとした体形に小顔。部屋に入ってきたときから人並みでない雰囲気を感じさせてくれた梅本さん。「バスケットボールは私のすべて」と話すその姿は本当にきらきらしていて、プロとしての意識がうかがえました。私も将来就職について、それが自分のすべてだと言い切れる人になれるよう努力しようと思いました。

取材・記事/教育学部2年 内山 亜里紗



北の国から世界に挑戦

—住んでみて分かる世界—

Republic of Finland

ユシ ポイホラ Jussi Pöyhölä
教育学部3年(フィンランド出身)



北の国フィンランド

私の出身フィンランドは、スウェーデンとロシアの間に位置する、北欧の小国です。面積は日本とほぼ同じですが、人口は約500万人で25分の1です。首都ヘルシンキの人口は、広島市とほぼ同じです。

フィンランドは、オーロラ観測で有名です。またサンタクロースや、携帯電話のノキアでも有名です。国土のほとんどは広大な森林で、その中には非常に多くの湖が分布しています。フィンランドは「千の湖の国」と言われることもありますが、実際には18万以上の湖が存在します。長い冬は暗く冷たく、最低気温は-51.5℃という記録もあります。しかし、夏がない訳ではありません。年に数ヶ月は気温が高く、最高気温は+33.6℃を記録したこともあります。

ユヴァスキュラ市は学園都市で、人口の割に学生が



Agoraはユヴァスキュラ大学で最も新しい建物です。情報技術学部と学際的な研究センターが入居しています

プロフィール
フィンランドのユヴァスキュラ市にある、ユヴァスキュラ大学人文文学部在籍。2009年9月から、HUSA*プログラムを利用して広島大学へ。日本留学の主な目的は、日本語の習得と日本文化の研究。最近では、特に漢字に興味を持っている。
*HUSA…広島大学の短期交換留学プログラム
URL: http://www.hiroshima-u.ac.jp/husa_program/

多く、学生は何かと優遇され、暮らしやすい街です。留学生も非常に多く、国際的な雰囲気もあります。特筆すべきは、世界ラリー選手権レース(WRC)です。毎年、50万人の観衆がこの街を訪れるので、多くの地元住民は、イベントが終わるまで街から避難しています。

未知の国を求めて留学を決意

留学を決めた動機は単純で、見知らぬ外国で見聞を広げ、生活を



ユヴァスキュラ大学の理学部のあるキャンパスへ続く橋

経験したいからでした。そのため、フィンランドとは大きく文化の異なるアジアの国を選びました。広島大学は、ユヴァスキュラ大学で利用できる留学先の中で、最も魅力的でした。広島は、フィンランド人には、世界初の被爆地として、大阪や京都よりもよく知られています。

広島大学の学生は、いろんな意味で、非常に普通の学生だと感じます。授業中に眠ったり、仲間と遊んだり、クラブ活動を楽しんだり、試験の直前になって勉強したり……。フィンランドにはクラブ活動がないことや、日本ではアルバイトがかなり一般的なことに違いがありますが、両国の学生に違いはほとんどありません。

大学では、いろいろな違いがあります。語学の試験でいえば、フィンランドでは知識をいかに応用するかが問われますが、日本では知識を問う筆記試験が主流です。学期ごとにある健康診断も、フィンランドでは珍しい習慣です。生協の売店がたくさんあるのも意外でした。冬に教室が非常に寒くて、コートを着て授業を受けたのも、フィンランドではありえない経験でした。

日本での生活を経験して

来日前は、日本は遠い神秘的の国というくらいのイメージしかありませんでしたが、日本滞在中、多くのことが見えてきました。日本は、さまざまな点で、ほかの国と同じだと分かりました。細かい違いはあっても、同

じ感情を持った人間が同じように生活をし、同じようにさまざまな問題に直面しています。

広大生に一言。留学をお勧めします。留学は、世界がどんなに非日常的か、あるいはどんなに日常のかを体感できる貴重な機会であり、何より楽しいからです。



フィンランド最果ての地、ラップランド。写真はキルピスヤルビという土地

(原文/英語)

印象的なエピソード

最も印象に残っているのは、日本に到着した時のことです。関西国際空港に着いてすぐに、新幹線で広島に向かいました。新幹線は今まで見たことのない、高級感のある列車で、乗客の乗降中は、乗務員の方がいつもお辞儀をしていたのが印象的でした。また何より車窓の風景が印象的でした。住宅地がどこまでも続き、遠くに山並みが見える、日本では何の変哲もない景色ですが、フィンランドにはない景色です。車窓からの風景に、異国へ来た!という強烈な印象を受けました。

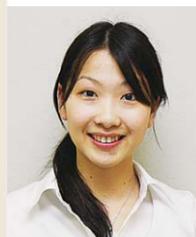


冬季の凍った湖

体感地球

わたしの世界見聞録

“海外から広大へ”来て学んでいる外国人留学生&“広大から海外へ”行って学んでいる日本人留学生。「外国人から見た日本は?」「日本人が見た外国とは?」…留学生ならではの視点で、見たこと、聞いたこと、感じたことをレポートします。



前向きな精神を体感

—交換留学は絶好の機会—

United States of

西江 真奈美 Manami Nishie
文学部4年



プロフィール
2008年8月から翌6月にかけて、HUSA*を利用してアメリカ合衆国ネバダ大学リノ校へ。民間の集合住宅や友人の家にホームステイしながら、英語を学ぶ。卒業後はNHKへ入局が決まっており、番組制作や運営を支える仕事に意欲を燃やしている。
【使用言語】英語 【費用】約150万円
*HUSA…広島大学の短期交換留学プログラム
URL: http://www.hiroshima-u.ac.jp/husa_program/

英語教師になるなら留学を

大学に入学したときから、英語の教師になりたいと思っていました。「英語教師たるもの、英語圏での生活経験が絶対必要」という思いから、2年の夏に、ハワイで3週間の語学研修を行うALOHAプログラムを利用して、留学を経験しました。しかし「3週間では足りない、1年間じっくりと腰を据えて海外へ行ってみよう」と思い、HUSAで留学する決意を固めました。HUSAは交換留学制度なので、授業料は広大だけに払えばいいし、広大を休学・留年することなく、単位交換ができるなど、多くのメリットがあります。

留学に当たって、語学学習の他には、専門分野である言語学のフィールドワークや方言調査、言語意識についての調査を目的にしました。留学先は、英語圏であることを第一条件に、物価や治安など、総合的に見て、アメリカを選びました。ネバダ大学は西海岸に近

く、過ごしやすい気候ということで決めました。

実際に留学してみ

留学前にネバダ大学に行った先輩から、向こうでの生活スタイルや服装、注意点などの情報をたくさん仕入れていたので、比較的スムーズに留学生活を始められました。しかし後で思ったのは、アメリカ映画



ネバダ大学リノ校のキャンパス

を観て、スラングやジョークをもっと勉強しておけばよかったということでした。アメリカは、映画の本場ハリウッドがあるだけに、映画のセリフを使ったジョークがよく聞かれました。アメリカ英語特有のスラングも、暮らしていればだんだん覚えていくものですが、もっと早くから知っていたら、円滑にコミュニケーションがとれていたのに……と思いました。アメリカに行くときは、英語の文法だけでなく、文化的な背景も少し頭に入れて行くことをお勧めします。

何を始めるにも遅すぎることはない

留学を通して一番変わったことは、「何を始めるにも遅すぎることはない」という前向きな考え方がなくなったことです。さまざまな人間が共に勉強しているアメリカの大学では、「強い志と行動力があれば、いくつになっても夢をかなえられる」という雰囲気があって、それを実践している人をたくさん見ました。私も、彼らの精神を見習って、新しいサークル、バイト、友人らとのルームシェア、就職活動など、新しく始めたことがたくさんあります。また、アメリカは日本よりも障害者支援が発達していたので、アクセシビリティへの関心が高まりました。現在は広大の「アクセシビリティリーダー」の認定試験を受けようと思っています。

最近、若者の内向き化が進んでいるとよく聞きます。ちょっと海外に行ったからといって、人生が劇的に変わることはないと思いますが、時



サンフランシスコにて(車で4時間ほど)



ハロウィンでのコスチューム(吸血鬼)

間が取れる大学生の間に、しかも交換留学制度が充実している広大に在るうちに、自分の「常識」が通用しない海外へ行ってみることは、きっと今後の成長につながると思います。

印象的なエピソード

アメリカの大学には、いろいろな年齢層の学生が在籍していることが衝撃的でした。飛び級をして15歳で大学に入学した人や、70歳近くになっても大学院で勉強している人、一度、社会に出て働いていたけれど、キャリアアップのために大学院に入った人など、さまざまな経験や背景を持った人がいて、「さすが、多様性を尊重する国だな」と思いました。



アメリカのクリスマス

学生取材班が行く 特別編

知っ得? 授業評価アンケート

「授業評価アンケートって一体何なのだろう?」「何のために行われているのだろう?」そんな疑問を持っている学生も少なくはないはず。今回は、そんな疑問を解消すべく、工学研究院の北村充教授の元へ取材に行きました。

アンケート実施中!

授業方法等の改善のために

1人でも多くの方からの回答を求めています。

是非、あなたの声を聞かせて/ください。

授業評価アンケートは、学生の授業への意見・要望を教員が受け止め、授業をより良くしたいという思いから、平成14年度に開始されました。当時は、授業の後などに、アンケート用紙を配布していましたが、平成21年度からは、Web(もみじ)上で行われています。



工学研究院の北村教授を取材

授業評価アンケートは、授業が終わった後に回答するので、受講生には直接関係がないように思えますが、学生にとってどのようなメリットがあるのか、北村先生に尋ねてみました。

「アンケートは無駄になることはありません!自分が受けた授業を評価することで、その結果

は来年度の授業計画に反映され、後輩はより良い授業を受けることができます。同じように皆さんが来年受ける授業は、先輩のアンケート評価を基に検討されます。これが毎回うまく回ってくれればいいと思います」と北村先生。

「私たちが協力して、アンケートの成果がうまく回って授業が改善されれば、自分の後輩や自分にとっても、メリットがあるようです。

「さらに、直接受けるメリットもあります。Web(もみじ)でのアンケートを始めた理由の一つは、学生が答えたアンケートに対して、教員がコメントを載せる場をつくりたかったからです。学生と教員が双方向的にコミュニケーションを取れる場を目指しています。実際、アンケートの集計結果と教員からのコメントは、Web(もみじ)で見ることができます!確かに、自分が答えたアンケートに、先生方がコメントをしてくれるとうれしいですね!

平成20年度までは70~80%程度だった授業評価アンケートの回答率は、平成21年

度の前期には50%まで落ち込み、後期には27%となっています。これは、アンケートをWeb(もみじ)で実施するようになったことが一つの原因のようです。このまま回答率が低いと、授業改善に利用するのが難しくなるといいます。授業改善は学生のために行っているの、ぜひとも協力してほしいとのこと。

今こそ、学生と教員が共に支え合って広島大学の授業をつくるべきではないでしょうか。授業評価アンケートにまだ回答していない人は、今すぐMyもみじにアクセスしてアンケートに回答しましょう。



授業評価アンケートの概要

- 対象者** 対象となる授業を履修した広島大学の学部・大学院生
- 実施時期** 7月13日~8月10日 もみじTOP ▶ Myもみじから回答。アンケート集計結果もここから見るができます。
- 連絡先** 教育学教育企画グループ TEL : 082-424-4510 Mail : kyoiku-kikaku@office.hiroshima-u.ac.jp

取材を終えて

授業評価アンケートについて、とても熱く語ってくれた北村先生。僕は1年生なので、アンケートに回答したことはありませんが、先生のアンケートに対する思いを直接聞いて、アンケートに回答しようという気持ちになりました。これからは毎回欠かさず、アンケートに回答していこうと思います!

取材・記事 / 文学部1年 石川 弘規

ダーツの奥深さを追求

広島大学ダーツサークル ~Verdigris~

どうも!! 広島大学ダーツサークル~ Verdigris ~の部長のキタローです! Verdigris は「ヴェルディグリ」って読みます。名前の由来は、ダーツ発祥の地イギリスの伝統色、古い青みの入った緑色の名前で、僕と副部長が好きな色だったので、そんな名前になりました。

ところで、皆さん、広大にダーツサークルがあるって知っていましたか……? 何を隠そう、この4月に発足したばかりです。今、メンバーは男子25人、女子10人ほどで、主に火曜・日曜の19時から21時に、JACK CLUBというダーツバーで、ワイワイ楽しく活動しています!

それでは、ダーツというスポーツの説明を少し……。やることはとてもシンプル。矢を三本持って、的に向かって一本ずつ投げる。ただ、それだけ。本当にそれだけなんですけど、とても奥が深く、一度やればその楽しさ、難しさが分かります。力が要らないので、女の子と男の子が対等に勝負できるのもダーツの魅力ですね。



下見街道沿いにあるダーツバーJACK CLUBで日々練習しています

またダーツは、全国どこにいても、映像付きでネット対戦ができるんです! 僕はよく、広島市のダーツ仲間と、西条に居ながら一緒にダーツを楽しんでいます。年齢を問わず楽しめるので、ダーツで知り合った友達は、生涯通じての友達になります!

メンバーは、学年も学部もバラバラですが、ほとんどが初心者で、男女仲良く活動しています。一度やれば、楽しさが分かってもらえると思います! 大学に入ってなにか始めてみたい!! っていう人、ダーツなんてどうですか? ☆

(記事/ダーツサークルVerdigris・教育学部4年 中山 潤二)



左から、JACK CLUBのオーナー夫妻、スタッフのalphaさん

連絡先 mog-i-eve.w2.gg-gs.knone-e24h@docomo.ne.jp

HP http://blog.livedoor.jp/h_verdigris/

発見! 元気人

ガンバル広大生のPRページ。みんなで応援しよう!

今しかできないことがある

AIESEC (アイセック) 広島委員会

アイセックは、アジア、ヨーロッパ、アメリカなどの世界107カ国にある、海外インターンシップ事業を運営するNPO団体です。広島の大学生が集まって設立したアイセック広島委員会には、広大から現在5人が参加しています。運営は学生が中心となって行っており、日本では東京の事務局のほか、全国24カ所に委員会があります。国内だけでも1,000人以上のメンバーが活躍しています。「海外インターンシップってなに?」という疑問を持つかもしれませんが、読んで字のごとく、海外で

暮らしながらインターン生として、企業やNGOで働くことです。一般的な留学とは異なり、インターンの要素が加わることで、文化的・国際的に広い視野を手に入れるとともに、仕事を通じて責任感や実務スキル、社会性を身に付けることができます。



広島委員会の委員長がケニアを訪問

きるのかなあ……」と思う方もいるでしょう。

それをサポートするのが、僕たちアイセックメンバーの仕事です。海外インターンに参加する研修生の希望を親身に聞き、本人のスキルや価値観に適合した国と企業を探すことから始まり、さまざまなサポートを行います。海外アイセックとの交流もあるので、研修先での生活面

や精神面でのサポートも大丈夫です。アイセックは、メンバーが学生だからこそ、学生の目線から研修生の不安を取り除き、共に研修に対して熱く語り合うことができるのです! ……と、伝えたいことはいっぱいあるのですが、紙面では伝えきれないほどのいろんな経験ができます。新しいことに挑戦したい人、海外で活躍してみたい人、就活に高い関心を持っている人は、アイセックジャパン公式HPと広島委員会のブログをぜひ見てください。

(記事/アイセック広島委員会・経済学部2年 森澤 一輝)

(記事/アイセック広島委員会・経済学部2年 森澤 一輝)



研修生とアイセックメンバーが宮島でアイセック広島委員会のメンバー(宮島での新歓合宿)

連絡先 b094208@hiroshima-u.ac.jp

公式HP http://www.aiesec.jp/

広島委員会ブログ http://blog.livedoor.jp/aiesec_hiroshima/

※PRしたい広大生大募集! 投稿を希望される方は広報グループまで(連絡先は、P18を参照)。

Hi! Hirodai Information

学内の重要なお知らせから、耳寄りなニュースまで。広大生必読のインフォメーションです。

本学OGが猿橋賞を受賞

4月23日、本学理学部OGで奈良先端科学技術大学院大学の高橋淑子教授が、「動物の発生における形作りの研究」で、第30回猿橋賞を受賞しました。猿橋賞とは自然科学分野で優れた業績を挙げた、50歳以下の女性研究者に贈られる賞です。「とても名誉のある賞をいただき、光栄です。今回受賞できたのは、いろんなことの積み重ねだと思います。これからもどんどんやってくれ!という賞ですので、元気100倍です」と先生。

卒業後、発生のメカニズムを突き止めたという思いから、京都大学大学院理学研究科へ進学。当時、女性でしかも理系の大学院に進学する人は少なく、家族には猛反対されたそうです。しかし、人ととやかく言われることへの反発もあって、自由で実力勝負の研究の世界を選んだといいます。

博士課程終了後は、フランスでトップレベルの女性研究者の下で、厳しく鍛えられたそうです。百戦百敗の厳しい指導に耐えて続けることができたのは、広大在学中のワンダーフォーゲル部での経験が大きかったといいます。「しんどくても誰も助けてくれない。それどころか罵倒されるんです。立ち上がって登るしかありません。落ち込む暇もないぐらい打たれていたら、強くなるんですよ。ワンゲルをやってなかったら、研究なんて続いてないかも」と振り返ります。



高橋先生が今燃えているのは、ガンの転移や神経と循環器の相互作用の関係。「病気は、必ず細胞や遺伝子に原因があります。だから細胞や遺伝子全体のメカニズムを解明しないと、原因を突き止め、病気で苦しむ人を助けることはできません。基礎研究なくして、医療の発展はないのです!」

そんな高橋先生から広大生へのメッセージをいただきました。「今の学生は子どもっぽいかな。もっと打たれ強くなれ! 大人ぶって生意気な顔をして、失敗してもいいから、何も考えずにいろいろ挑戦しなげや。広大に誇りを持って、胸を張って、大人としてどんどん挑戦してください。視野を広げて世界で活躍してください。期待してます!」

取材・記事/総合科学部4年 中田 有紀



弓道部藤井選手が優勝!

4月23日(金)から25日(日)にかけて、山口県スポーツ文化センターで行われた中国学生弓道競技大会で、文学部2年の藤井翔平さんが、男子個人優勝を果たしました。

ソフトテニス部の2人が優勝!

5月1日(土)から5日(水)にかけて、鳥根県立浜山運動公園で行われた第32回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会で、中村友里さん(教育学部1年)と工藤香那子さん(教育学部3年)が個人女子ダブルス優勝を果たしました。

剣道部が3つの全日本大会に出場!

剣道部は5月16日(日)に愛媛県武道館で行われた、第42回中四国女子学生剣道選手権大会・第57回中四国学生剣道選手権大会・第13回中四国学生剣道Challenge Cup(女子の部)で優秀な成績を残しました。同部は第4回全日本女子学生剣道東西対抗試合・第44回全日本女子学生剣道選手権大会・第58回全日本学生剣道選手権大会へ出場します。



第42回中四国女子学生剣道選手権大会

- 優勝 島添未奈美(教育学部3年)
- 2位 土井 夢香(教育学部2年)
- 3位 藤井友美子(教育学部4年)
- ベスト8 芝田 幹江(教育学部1年)
- 山村 彩(総合科学部2年)
- 小櫻 美鈴(教育学部4年)

第57回中四国学生剣道選手権大会

個人 ベスト16 月本 翔太(歯学部3年)

第13回中四国学生剣道Challenge Cup(女子の部)

個人 優勝 白水 結(総合科学部3年)

Phoenix Racing 全日本学生フォーミュラ大会に挑戦!

「Phoenix Racing」は、2008年に発足したフォーミュラチーム。現在、学部1年生から大学院2年生までが幅広く活動しています。9月に小笠原総合運動公園(静岡県)で開催される全日本学生フォーミュラ大会を目指し、車体の製作、企業への協賛依頼、コストや設計レポートの作成をしています。

Phoenix Racingのホームページ

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/fsae/>

陸上競技部、中四国大会で活躍

5月14日(金)から16日(日)にかけて、鳥根総合運動公園で行われた、第64回中国四国学生陸上競技対校選手権大会で陸上競技部が優秀な成績を残しました。

- 10000mW 1位 松木 一馬(教育学部2年)
- 棒高跳 1位 萩原 翔(教育学研究科M2)
- 400mH 1位 山木 彩加(教育学部3年)

フェンシング部の2人が1位入賞

5月29日(土)と30日(日)に、九州大学箱崎キャンパスで行われた春期九州リーグで、フェンシング部が、優秀な成績を残しました。

- 個人男子エペ 1位 重松 司(総合科学部3年)
- 個人男子サーブル 1位 中村 啓司(生物生産学部3年)

柔道部女子が全国大会に出場しました!

5月21日(金)と22日(土)の2日間、岡山県立武道館で行われた中四国学生柔道優勝大会において、柔道部女子が女子団体五人制の部で2位入賞を果たしました。6月26日(土)と27日(日)の2日間、東京の日本武道館で行われた、全日本学生柔道優勝大会に8選手が出場しました。

出場選手

- 藤井あやか(教育学部3年)、川端美穂(教育学部2年)
- 秋山日向子(教育学部2年)、山本美樹(教育学部4年)
- 黒谷あおい(教育学部4年)、佐藤恵美(教育学部3年)
- 宇都宮有希(教育学部1年)、天下若菜(教育学部1年)

第61回中国五大学学生競技大会が開催されます

毎年、中国地方の国立五大学から約2,000人の学生が参加し、中国五大学学生競技大会が開催されます。夏季大会・冬季大会を合わせて20の種目で、日ごろの練習成果を競い合います。夏季大会は7月3日(土)の水泳競技から始まり、以下の日程で行われます。



○夏季大会スケジュール

競技種目	期間	会場
水泳	7月3日(土)・7月4日(日)	鳥取市河原市民プール
硬式野球	8月30日(月)・8月31日(火)	山口市西京スタジアム
空手道	9月4日(土)	鳥取大学第1体育館
陸上競技		山口市維新百年記念公園
体操		松江市総合体育館
ソフトテニス		松江市総合運動公園庭球場
弓道		鳥根県立鳥取産業体育館
準硬式野球		松江市総合運動公園野球場
軟式野球	9月4日(土)・9月5日(日)	コカ・コーラウエストスポーツパーク(鳥取県立布勢総合運動公園)野球場
バドミントン		鳥取県立鳥取産業体育館
バレーボール		山口大学第一体育館
卓球		山口大学第二体育館・第二武道場

レッツ東広島・留学生がリポーターに挑戦

東広島市の広報番組『レッツ! 東広島』のリポーターとして、本学留学生2人が4月から出演しています。リポーターはブストフスキー・アナスタシアさん(大学院教育学研究科1年、ロシア出身)とグレチャーナヤ・エブゲーニヤさん(大学院教育学研究科2年、ロシア出身)。

二人はリポーターには初挑戦ですが、「留学中に、いろいろな経験をしたい」という思いから、リポーターに申し出ました。

皆さま、2人への応援をよろしくお願いします!



レッツ! 東広島

毎週水曜日 18:56 ~ 19:00 広島ホームテレビ

URL: <http://www.home-tv.co.jp/higashihiroshima/>

平成22年度 こでまり展を開催!

6月21日(月)から25日(金)に、学生会館で教育学部造形芸術系コースの有志による制作展、「こでまり展」を開催しました。期間中の入場者は250人を数えました。今回、初の試みとして、展示作品のポストカードを会場で販売しました。収益は広島市のNGO団体ANT-Hiroshimaに寄付し、世界中の子どもたちの支援活動に役立てられます。

ポストカードの企画を提案した稲屋さん(教育学部3年)は、「ハイチ地震のニュースを見て、寄付を思い付きました。ポストカードをたくさん買ってもらったのでうれしい」と感想を語りました。



ANT-Hiroshimaのホームページ

<http://www.ant-hiroshima.org/artparty/>

フェニックスコンサートを開催しました

6月13日(日)、第31回広島大学音楽祭フェニックスコンサートを開催しました。会場には、学生・教職員のほかに、地域の方が多数来場しました。広島大学音楽協議会所属の13団体が出演し、日ごろの練習の成果を披露しました。

マイクロソフト社製ソフトウェアが、無償で利用できます

本学の学生(学生証を所持する者)は、個人所有PC1人1台に限り、契約に定めるマイクロソフト社製ソフトウェアを無償でインストールできます。最新のOSやOfficeをどうぞご利用ください。詳しくはWebをご覧ください。(5月17日より配布中)

マイクロソフト包括ライセンス

<https://mslicense.office.hiroshima-u.ac.jp/>

INU 修士サマースクール「地球市民とは何か」開講!

今年も、本学を含むINU加盟大学の教員および専門家による8日間(8月3日(火)~10日(火))の集中講義を行います。社会科学研究科の前期開講科目(2単位)として認定されます。対象は博士課程(前期)に在籍している学生で、十分な英語力を有する者。

INUのホームページ
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/kokusai/inuactivity/>

INU 学生セミナー 2010 開催

INU(国際大学ネットワーク)加盟大学の学生が広島に集まり、Global Citizenship(地球市民)について考え議論します。第5回目となる今年のテーマは「Humanitarian Intervention(人道的介入/干渉)」。講義・模擬国連総会は自由に見学できますので、ふるってご参加ください。

【日時】8月5日(木)~8月10日(火)

【会場】広島市内、広島大学(東広島キャンパス)

STARTプログラム始動!

START*プログラムは、海外経験の少ない学部新生を対象に、海外の協定大学を訪問し、現地学生との交流や観光などを行う体験プログラム。異文化を体験することで、国際交流や留学への関心を高めることを目的に、今年から開始します。参加費用の一部は広大基金より支援されます。

第1回は、9月5日(日)から14日(火)の10日間、オーストラリアのラトローブ大学を訪問します。また、春休みには第2回を計画しています。

*START: Study Tour Abroad for Realization and Transformation

担当窓口 **国際センター国際交流グループ(学生プラザ3F)**
 TEL: 082-424-4541 E-mail: start@hiroshima-u.ac.jp

卒業生の西谷寛さんが環境絵本の寄贈活動をしています

昭和54年に、本学水畜産学部(現・生物生産学部)を卒業した西谷寛さん(神戸市環境局)が、環境絵本「海と空の約束」を全国の幼稚園・小学校などに寄贈する活動を行っています。

『海と空の約束』は、西谷さんがストーリーを考え、2009年に自費出版したもので、生物多様性の保全や水の循環をテーマにしています。西谷さんは仕事で環境教育に携わった経験から、幼稚園・小学校段階の子どもたちに向けた環境教材が少ないことを実感し、絵本の出版を考えました。現在、「海と空の約束プロジェクト」を立ち上げ、本の売り上げと企業からの寄付をもとに、絵本の寄贈や絵本の普及活動を行っています。



海と空の約束プロジェクトのホームページ
<http://umisora.petit.cc/>

ゆかたまつりを開催しました

7月4日(日)、総合科学部周辺でゆかたまつりを開催しました。15回目の開催となる今年のテーマは「広大直撃!! ゆかたいふーん」。メインステージを中心に、模擬店・フリーマーケットなどを行いました。当日は、多くの学生や地域の方が来場し、にぎわいました。



卒業生の井上さんがインドで活躍!

昨年教育学部を卒業し、現在インドで青年海外協力隊として柔道を指導している、井上大智(いのうえ だいち)さんが、現地(ハリヤナ州ロータク市)の新聞に報道されました。井上さんは、インド柔道連盟の要請で、デリーを中心にインド各地で柔道選手の指導に当たっています。

2010年7月~10月までのスケジュール

7月	7.1 ~ 8.31	後期分授業料免除申請受付期間*	
	7.3 ~ 4	中国五大学学生競技大会夏季大会 水泳(鳥取県)	
	7.4	ゆかたまつり	
	7.13 ~ 8/10	学生によるWEB授業評価アンケートおよび教育プログラム評価アンケート	
8月	7.16	振替授業日(月曜日の授業を実施)	
	7.20	学位記(博士)授与式	
	7.23 ~ 8.5	学期末試験*	
	7.30 ~ 8.15	西日本医科学生総合体育大会(愛知県 他)	
	8.3 ~ 10	INU修士サマースクール	
	8.5	前期授業終了、学生支援教職員研修会(TA、ピア・サポーター等参加可)	
	8.5 ~ 10	INU学生セミナー	
	8.6 ~ 9.30	夏季休業	
	8.8 ~ 8.10	オープンキャンパス*	
	8.23 ~	教育プログラム評価アンケート集計結果公開	
9月	8.30 ~ 8.31	中国五大学学生競技大会夏季大会 硬式野球(山口県)	
	9.4 ~ 9.5	中国五大学学生競技大会夏季大会 水泳、硬式野球を除く(島根県・山口県・鳥取県)	
	9.5 ~ 9.14	第1回STARTプログラム派遣(オーストラリア)	
	9.17	教育著作権セミナー	
	9.23 ~	WEB授業評価アンケート集計結果公開	
	9.24 ~ 10.18	後期履修手続*	
	9.29・30	TA研修会 東広島キャンパス(9.29)、霞キャンパス(9.30)	
	10月	10.1	後期授業開始
		10.8 ~ 10.18	日本学生支援機構大学院奨学生(平成23年度予約採用)出願受付*
		10.9	酒まつり&伝統芸能フェスティバル
10.19		学位記(博士)授与式	
	10.31	後期授業料振り込み締め切り	
	10月下旬(予定)	HUSAプログラム派遣留学生募集	

注意 ※印のあるものは、学部・研究科などによって日程が異なります。必ず「もみじ」やHP、掲示板などで確認してください。

COVER 人 第22号

撮影場所は、意外と目にする機会が少ない、広島大学のプールです。西条キャンパスにあります。撮影日は、梅雨真ただ中でしたが、奇跡的にピーカンな快晴に。笑顔がさわやかな鈴木さんは、きつと晴れ男ですね。

鈴木 英士さん
 ●教育学研究科M1
 ●広島大学ボランティア推進委員会V-proの代表

本人コメント
 友達が推薦してくれたのですが、まさか自分が本当に選ばれるとは思いませんでした。出来上がった冊子は一生の宝にします(笑)。今は研究に励みながら、V-proの代表として、地域と広大生をボランティアでつなぐ活動をしています。毎週木曜4コマにはソフトテニスサークル「EST」のメンバーと第3テニスコートでソフトテニスをしています(新メンバー募集中!)。暑い夏もアクティブに乗り切りたいです。
V-proブログ <http://vpro-v-pro.blogspot.com/>

表紙モデル募集
 表紙を飾ってくれる学生を募集します。ぜひ出てみたいという方、ちょっと興味があるんだけど...という方は、気軽に編集部までご連絡ください。自薦他薦は問いません。

CONTENTS

- 01 あの人に会いたい
...01 原田 真二
- 特集 03 今何してる? 広大生 03...
- 07 学生取材班が行く
...07 新銘葉「せとこまち」を共同開発
...07 学生による学生のための相談室
ピア・サポート・ルーム
- Knock on the door 08 外国語教育研究センター 08...
吉満研究室訪問
- 09 羅針盤 OB&OG紹介
...09 宮本 友昭
...10 梅本 恵里
- 11 体感地球 わたしの世界見聞録
ユシ・ポイホラ 11...
西江 真奈美 11...
- 13 学生取材班が行く「特別編」
...13 知っ得? 授業評価アンケート
- 発見! 元気人 14 ガンバル広大生のPRページ。
みんなで応援しよう!
広島大学ダーツサークル 14...
~ Verdigris ~
AIESEC (アイセック) 14...
広島委員会
- 15 Hi! Hirodai Information
...15 各種お知らせ
...16 COVER 人
...18 編集部からのお知らせ

編集部からのお知らせ

●HU-style (エイチユースタイル) 編集基本方針
 ○学生に「挑戦する、行動する」一つのきっかけにしようべく、「人」に焦点をあて、学生、教職員、卒業生をはじめさまざまな人々が持つ多様な個性、価値観など(style)を紹介する。
 ○本学に関する情報の伝達と周知

●投稿募集
 ①掲載記事について
 1件につき、400字以内でお寄せください。氏名(ふりがな)、所属、学年、連絡先を明記。文章は編集部で手直しさせていただきます。紙上での匿名もOKです。
 ②情報の提供、「HU-style」への提言
 取り上げてほしい人物・テーマなどの情報をお寄せください。氏名(ふりがな)、所属、学年、連絡先を明記。
 ※①②とも、原則としてEメールで投稿してください。

●学生広報スタッフ募集!
 本誌の企画・編集に参加していただける学生を募集しています。希望される方は、まずはEメールでご連絡ください。

●定期購読のお申し込み
 学外の方で、定期購読を希望される方は、住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業を明記し、Eメールまたはハガキでお申し込みください。

●本誌の記事・写真等の無断転載を禁じます

●個人情報保護について
 投稿、応募、購読申し込みに記載の個人情報は、編集部からの連絡に利用します。投稿および応募結果は、本誌以外の各種媒体に掲載する可能性があり、掲載時には原則として、氏名、所属、学年を記載します。事前に承諾を得ない限り、個人情報をこれ以外の目的には利用しません。郵便物やEメールなどは適切に管理し、使用後は破棄します。

●お問い合わせ・お申し込み
広島大学広報グループ「HU-style」編集担当
 (連絡先は下記参照)

編集後記
 今回の特集は「今何してる? 広大生」。キャンパスの所々で、建物や設備がリニューアルしていることをきっかけに始まった企画。しかし、キャンパスには昔からあるもの、まだまだ知られていないスポットもたくさんあります。今回表紙の撮影を行った屋外プールは、学生スタッフも編集部員も、その存在は知っていても、中に入るのは初めて。きれいに整備された50mプールに一同感動。梅雨の中休みで、非常に暑い中での撮影となりましたが、落水するものもなく無事撮影終了しました。(新人編集部員K)

HU-style 2010年7月号 Vol.22(季刊)

編集・発行 広島大学広報グループ
 住所 〒739-8511 広島市東区鏡山一丁目3番2号
 電話 082-424-6017
 F a x 082-424-6040
 E-mail koho@office.hiroshima-u.ac.jp
 制作 有限会社トゥービー
 印刷 中本総合印刷株式会社

※次号は10月上旬発行予定です。(4月、7月、10月、1月の年4回発行)